

⑨山中温泉本町景観整備地区 景観形成基準

種 別		景 観 形 成 基 準	
建 築 物	高 さ	15m以内とする。	
	階 数	原則として、一般住宅、商業建築物共に3階以下とする。	
	屋 根	形 式	伝統的形式の切妻、方形、入母屋等勾配のあるものとする。 やむをえず陸屋根とする時は庇を設ける。
		材 料	原則として、日本瓦とする。
		色 彩	無彩色又は赤茶色（無彩色 黒から白の間の色）とする。
	壁 面	材 料	モルタル塗、木板張り、鉄板葺きとし、極力波トタン等は使用しない。
		色 彩	無彩色又は茶系統の温かみのある落ち着いた色彩とする。 ただし、商業建築物についてはある程度の明彩色（原色は避ける）は可能とする。
		窓・格子	極力通りに面する部分には面格子戸、出格子戸、虫籠格子戸を設ける。また、極力通りに面する部分にはシャッターは設置しない。
	そ の 他	配 置	前面道路からの後退 極力通りに面する軒は付近の家屋の軒と揃える。
			敷地境界からの後退 隣地間は50cm以上あける。
			空 地 —
		軒 裏	—
		物干し場	原則として、通りに面する部分には屋外に物干し場を設置しない。 やむをえず設置する場合は目隠し等で覆う。
		庇・軒の統一	前面道路に面する1階部分には庇を設ける。軒及び庇は、日本瓦葺き又は鋼板葺きとし、極力軒先を揃える。
		門・塀	建築物と同調したデザインとする。 コンクリートブロック積は避ける。 前面道路に接する部分は段差や障害物等を設置しない（バリアフリー）。
工 作 物	設 備	高 さ	屋上に設置するクーリングタワー等の高さは3m以内とする。
		仕上げ	道路から見える場所に設置する場合は、建築物と同調させる。ただし、建築物と同調させた目隠し等で覆う場合は、この限りでない。
		目隠し	クーリングタワー、受水槽などの周囲にはアルミ、ステンレス等で目隠しをする。
		照 明	電球色の蛍光灯やLEDなどとし照度も調和を重んじ町並み夜景に配慮する。
		色 彩	建築物と同調色とし、突出した色は避ける。
そ の 他	敷地の緑化		極力町並みに配慮した植栽を行う。
	駐 車 場		極力周囲には植栽し塀や生垣で囲み、舗装は景観上好ましい仕上げとする（インターロッキング、タイル、石張り、脱色アスファルト等）。なお、一般住宅および店舗前駐車場は除く。

協議会への確認・相談

建築行為を計画するときは事前協議前に協議会へ配置・平面・立面に関する図面を提出する。

■景観計画に基づかない基準

種 別		景 観 形 成 基 準	
太陽光発電設備等		配 置	極力通りから認識できる場所には設置しないよう努める。
		形態意匠	原則として、建築物本体と一体的に見える形態とする。
工 作 物	広 告 物	設 置	広告物は必要最小限の自家広告物とする。
		表示面積	自家広告物の面積は必要最小限とする。（極力表示面積は5㎡以内とする。）
		素 材	材料は自然材料（布、木、銅、鋳鉄等）を使い建築物に同調したデザインとする。
		形 式	極力壁面より突出する形式（ブラケット）は使用しない。
		照 明	内照製（内部に光源あり）の看板でなく、看板を照らすものとする。
		色 彩	原色は避け、日本の伝統色(例：えんじ、金茶、藍、山吹、海老茶、うぐいす色等)の範囲とする。
その他		自動販売機	周辺景観と調和させ、極力建築物等と一体的になるよう努める。屋外に設置する場合は、外装色をJIS Z8721 による5Y 7.5/1.5 を中心とした色彩とする。
		空 地	砂利敷きなどを施して砂ホコリがたたないようにする。また、周囲には植栽を行うとともに、極力塀や生垣で囲む。

■山中温泉本町 景観整備地区区域図■

